

介護ステーション ぶらんち ニュースレター

Vol. 94

令和6年10月号

さあ～秋がやって来ました！秋風を感じて軽やかに・・・

やっ、秋の気配が訪れた？かな。

東京はまだまだですが、山間部などは少しずつ、紅葉し始めています。

ただ、その紅葉が以前とは違い、

葉っぱが枯れてしまっただけの紅葉になっていることも多々あり、

秋大好きな私は残念です。

さて、世の中は・・・

選挙、ノーベル賞、大谷選手の活躍、といったところでしょうか。

日本被団協さんがノーベル平和賞を受賞されました。

長きに渡る活動が評価された結果は当然ながら

今の世界情勢だからこそ、選ばれた！なのでしょう。

「平和」は昔も今もこれからも、みんなの願い、ではないでしょうか。

「平和」「へいわ」とたった漢字2文字、ひらがな3文字なのに、

なかなか実現・継続が困難なこと。

人にはプライドや地位・名誉を獲得したい欲望、多くの経済獲得したい欲などがありますし、

妬みや嫉妬というあらぬ感情を持っていますし・・・

そのような感情・思考は無くすることができればベストですが、そうではなく

ただ、自分の今、この今、目の前にいる人を理解しよう！

というささやかなことをしていくことで、平和という空気、雰囲気風のように流れて、実現に

近づくのではないのでしょうか。このささやかな行動を大切にしたいです。



介護業界を盛り上げよう！！

介護が家族間、親戚間で発生すると、

いろいろな日常に変化が出てきます。

今の自分の生活の中に介護が必要な身内へ関わる時間が

発生し、それが、自分の生活に馴染むまで、

やはり、疲労感が発生します。

その疲労感を限りなく少なくしたり、継続させないには、

介護についての下準備程度の知識を持つ、

ことではないか、と思います。

ほとんどの方が介護保険制度がある、ことは

わかっているけれど、

どんな制度なのかもあまり知識がない。

状況によっては、

介護保険制度と障害自立支援法の両方を

利用できるのですが、

その知識がなかったりします。

もちろん、病院にはソーシャルワーカーさんがいますし、

役所の介護保険課、地域包括支援センターさん

でも情報は教えていただけます。

ただ、ある程度、知識の下準備があって、

情報を聞くと、

知らなくて聞くのとは、

大きな違いがあるのではないのでしょうか。

カウンセリングのような気軽に介護について話せたり、

聞けたり、伴走したりするような機関や場所が

日本にも出来たら、もっと、介護が軽やかに

なるような気がしてなりません。

ぶらんちの今を紹介

ぶらんちでは、

今年も港区の中学生の職場体験学習に活用していただくことになりました。

今の子供達は核家族化の中で育っているので、
じい・ばあが緩やかに老化していくことを
体験する機会が少なくなっています。

どう手伝ったらいいか、

どう自分が動いたらいいのか、

知らない。

よく、移動支援等で外出支援をすると、
杖歩行の横をもの凄いスピードで通り過ぎたり、
公共交通で、優先席にどかっと座ったままで、
席を譲らなかつたり・・・

それは、優しくない、のではなく、

「知らない」のではないか。

だからこそ、少しでも、大人世代になる前に

関わる経験・体験をして欲しい、

そんな思いが港区教育委員会の方々の思いと共鳴し
昨年からは実施させていただいております。

ご協力いただくご利用者様には改めて、

打ち合わせ等させていただきます。

どうぞよろしくお願い致します。